

安全データシート

1. 製品及び会社情報

【製品名】 クリーンエーティノックス
 【会社名】 株式会社シフト
 大阪府堺市北区長曾根町46番地
 TEL 072-252-3231 FAX 072-252-3310

2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類対象物質ではない
物理化学的危険性	通常の取り扱いでは、危険性は低い。
GHSラベル要素	
絵表示	非該当
注意喚起語	非該当
危険有害性情報	非該当
注意書き	
「予防策」	すべての安全注意(SDS等)を読み理解するまで取扱わないこと。 容器を密封し、取扱い時にはこぼれないように注意すること。 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、ミスト、蒸気の吸入を避けること。 また、飲み込まないこと(飲み込むと下痢、嘔吐する)。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出をさけること。
「対応」	眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断・手当 てを受けること。 飲み込んだり、暴露あるいは暴露の懸念がある、又は気分が悪い場合:医師の 診断・手当てを受けること。 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
「保管」	直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 容器を密閉し、保管場所に施錠すること。
「廃棄」	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を 委託する(不明な場合は購入先に相談の上処理すること。)

GHS分類に該当しない他の危険有害性 この製品自体は不燃性であるが、加熱すると分解してアンモニアガスを生成する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名:	尿素水溶液
成分及び含有量	尿素 水
	32.5% 67.5%
化学特性(化学式)	(NH ₂) ₂ CO H ₂ O
官報公示整理番号	化審法 (2)-1732、 安衛法 既存
CAS No.	57-13-6

4. 応急処置

皮膚(又は髪)に付着した場合:	直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼で洗う。 汚染された衣服を再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け医師の診断・手当てを受ける。
吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。身体を毛布などで被い、保温して安静を保つ。必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合:	無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察を受ける。無理に吐かせるとかえって肺への吸引等の危険が増す。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗浄する。

5. 火災時の措置

消火剤:	周辺火災時、全ての消化剤の使用可。
特有の危険有害性:	当該製品は分子中にNを含有しているため火災時に刺激性のガスを放出する。
特有の消火方法:	周辺火災の場合、火元への燃焼源を断ち、消化剤を使用して消化する。 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護:	消火活動は風上から行い、状況に応じて適切な空気呼吸器、耐熱防護複を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 および緊急措置:	漏出した場所の周囲にロープなどを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。 除去作業の際には必ず適切な保護具を着用し飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項:	製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収・中和、並びに封じ込め 及び浄化の方法・器材:	速やかに全ての着火源を取り除き、漏洩箇所の漏れを止める。 砂、土、おがくず、ウエス等の吸収剤で漏洩物を吸収して廃棄容器に入れる。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い技術的対策:	換気の良い場所で取り扱う。 吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。取り扱う場合の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、 取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
局所排気・全体排気 安全取り扱い注意事項:	取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取り扱う。 使用前に使用説明書入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 吸い込んだり、飲み込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
保管・技術的対策:	密栓した容器に保管し、直射日光を避け、10℃～30℃の換気の良い暗所で貯蔵する。
混触危険物質:	強酸化剤
容器包装材料:	貯蔵タンクの材質は、ステンレス鋼(SUS304)、ポリエチレン等の樹脂。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:	近くに手洗い、洗顔などの設備を設ける。作業場には換気設備を設ける。 高温で使用の場合は、密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。
管理濃度:	未設定

許容濃度: 日本産業衛生学会 未設定
ACGIH 未設定

保護具

呼吸器の保護具: 有機ガス用防毒マスク
手の保護具: 保護手袋
眼の保護具: ゴーグル型保護眼鏡、保護面
皮膚及び身体の保護具: 安全帽、保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

外観:
物理的状态 液体
色 無色透明
臭い: 知見なし
pH: 中性
融点: 知見なし
沸点: 知見なし
初留点: 知見なし
沸騰範囲: 知見なし
引火点: 不燃性
自然発火温度: 知見なし
爆発限界 知見なし
蒸気圧: 知見なし
蒸気密度: 知見なし
比重(密度): 1.09
分解温度: 知見なし

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常通りの取り扱いでは安定である。
強酸化剤等と反応すると火災と爆発の危険性がある。
危険有害反応可能性: 強酸化剤、亜硝酸塩、無機塩化物、亜酸素酸塩、過塩素酸塩と激しく反応する。
避けるべき条件: 加熱及び強酸化剤等の混触を避ける。
混触危険物質: 強酸化剤等。
危険有害な分解生成物: アンモニア、窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性: 知見なし
< 本銘柄に関する情報がないため尿素有害性情報を参照 >
経口 ラット LD₅₀ 8471 mg/kg
マウス LD₅₀ 11 g/kg
皮下 ラット LD₅₀ 8200 mg/kg
マウス LD₅₀ 9200 mg/kg
静脈 ラット LD₅₀ 5300 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 皮膚: ヒト22mg/3日 間欠的 軽度
ウサギ皮膚に20時間半閉塞適用により「刺激性なし」と評価される。
眼に対する重篤な損傷・刺激性: ウサギの試験で、適用24時間後「刺激性なし」と評価されている。
呼吸器感受性又は皮膚感受性: 皮膚の感受性 感受性なし
生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性 エームス試験 陰性
発がん性: ラットまたはマウスの経口投与による慢性毒性・発がん性スクリーニング試験で、いずれの動物種とも腫瘍発生頻度の増加は認められていない。

12. 環境影響情報

< 本銘柄に関する情報がないため尿素の有害性情報を参照 >

生態毒性:	魚毒性	テラピア LC ₅₀ : 22500 mg/L /96hr
	藻類毒性	閾値 > 10000 mg/L/192hr (緑藻、Scenedesmus quadricauda)
残留性/分解性:	易生分解性	
生体蓄積性:	データなし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	水分を乾燥後、不燃性物質として廃棄処理する。 活性汚泥の窒素源として使用する。
汚染容器及び包装:	使用済み包装容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制:	
国連番号	非該当
国連分類	国連定義の危険物に該当しない。
海洋汚染物質	非該当
国内規制:	
陸上	規制なし
海上	規制なし
航空	規制なし
輸送の特定の安全対策及び条件	容器の破損、漏れがないことを確かめて、転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 法規に規定された基準に従って輸送する。

15. 適用法令

水質汚濁防止法	(pH、N等)
下水道法	水質の検定

16. その他の情報

参考文献

- 1) HSDB : Hazardous Substances Data Bank (NLM, 2001)
- 2) 15710の化学商品 (化学工業日報社、2010)
- 3) 国際化学物質安全性カード (化学工業日報社、1997)
- 4) JETOC / KASHIN (日本化学物質安全情報センター、1997)
- 5) RTECS : Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (NIOSH, 2001)
- 6) ECDIN : Environmental Chemicals Data and Information Network (1993)

注意事項

記載内容については現時点で入手した資料に基づき作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので取り扱いに注意して下さい。
また記載した注意点は通常の手続きを前提としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。
安全データシートは情報の提供を目的としたもので、安全の保証書ではありません。
本データシートの内容は新しい知見により予告なく変更することがあります。